

平成29年度事務事業評価シート

No.155

平成29年6月29日作成

事業番号	1248	担当課等	公園課							
事務事業名	防犯カメラ設置事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	02	事業開始年度	平成 28 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P114 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅲ 安全な暮らしの確 保	4 防犯	(1) 防犯体制の充実	② 防犯環境の整備
関連する個別計画					
目的	公園の施設破損や近隣住民の安全を図るもの				
対象	町民				
内容	主に市街地の公園に防犯カメラを設置するもの				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)		平成29年度(見込)		
	事業費			2,435,400		2,258,000		
	人件費	常勤職員		925,260		899,130		
		非常勤職員等		0		0		
		人件費合計	0	925,260		899,130		
	総事業費		0	3,360,660		3,157,130		
財源内訳	国庫支出金			0		0		
	県支出金			235,000		651,000		
	地方債			0		0		
	その他特定財源			0		0		
	一般財源		0	3,125,660		2,506,130		
	財源合計		0	3,360,660		3,157,130		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
防犯カメラ設置台数					台		16	17
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
防犯カメラ設置総数					台		16	33

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	町の施設である公園の施設破損等防止の観点から町で実施すべきである。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	防犯に効力を発揮していることから効果は得られている。
類似性	他事業との類似はないか		
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	安全安心の観点で成果は得られていると思われる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3	対象者は公園利用者及び近隣の住民等である。
平成28年度までの自己評価または改善点		有事に撮影データを簡単に確認できるよう、配線が手の届く位置にあるとなお効果的であった。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 工事のみの事業であり、設計・積算は課員で行うことができるので必要はない。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	街灯よりカメラの電源を取るが、電源を取れない灯具があるので、見極めて設置場所を考えたい。
平成30年度以降の方向性	撮影範囲を広げ、施設以外の場所も録画できるよう増設を考えたい。

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

計画的に設置していくこと。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成29年度事務事業評価シート

No.156

平成29年6月29日作成

事業番号	1209	担当課等	公園課							
事務事業名	ME-BYO対策健康遊具整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	02	事業開始年度	平成 27 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P114 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	IV 計画的な土地利 用の推進	3 公園・緑地水辺	(1) 公園の整備	① 都市公園の整備
関連する個別計画					
目的	町民の健康増進を図るもの				
対象	13歳以上の町民等				
内容	街区公園等都市公園に健康遊具を設置するもの				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)		平成29年度(見込)		
	事業費		3,112,560	9,126,000		5,012,000		
	人件費	常勤職員	940,620	925,260		899,130		
		非常勤職員等	0	0		0		
		人件費合計	940,620	925,260		899,130		
	総事業費		4,053,180	10,051,260		5,911,130		
財源内訳	国庫支出金		0	0		2,506,000		
	県支出金		0	4,713,000		0		
	地方債		0	0		0		
	その他特定財源		0	0		0		
	一般財源		4,053,180	5,338,260		3,405,130		
	財源合計		4,053,180	10,051,260		5,911,130		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
健康遊具設置基数					基	3	9	3
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
健康遊具設置総数					基	3	12	15

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	町民の健康を図るための事業であることから町が実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	利用者からの評価が高いことから効果は得られていると思われる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	利用者からの評価が高いことから町民の健康を図る面で成果は得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	13歳以上の方は利用可能でおおむね各地区に配置されていることから機会は均等である。
平成28年度までの自己評価または改善点		利用者からの評価が高いことから、設置の効果については満足のいくものとなっている。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	工事のみの事業であり、設計・積算は課員で行うことができるので必要はない。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	市街地の街区公園に設置する際は、13歳未満の方が利用する可能性があることから、フェンスにて区切るよう考える。	
平成30年度以降の方向性	福浦地区に不足しているので今後設置を検討したい。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(縮小)	敷地の狭い街区公園に設置する場合などは、子ども(12歳以下)と大人の利用が重複するので設置場所を慎重に選定していくこと。
------	--------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・県支出金を活用しながら、計画的に推進すること。 ・利用状況の検証方法を検討する必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.157

平成29年6月29日作成

事業番号	1296	担当課等	公園課							
事務事業名	(仮称)福浦公園整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	02	事業開始年度	平成 29 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P114 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	IV 計画的な土地利 用の推進	3 公園・緑地水辺	(1) 公園の整備	① 都市公園の整備
関連する個別計画	湯河原町緑の基本計画				
目的	公園が不足している福浦地区に、防災機能を有した一時避難可能な公園を整備するもの				
対象	町民				
内容	現地調査を行い、地元と調整を行い、新たな都市公園を整備するもの				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)		平成29年度(見込)		
	事業費			0		1,000,000		
	人件費	常勤職員		0		899,130		
		非常勤職員等		0		0		
		人件費合計	0	0		899,130		
	総事業費		0	0		1,899,130		
財源内訳	国庫支出金			0		0		
	県支出金			0		0		
	地方債			0		0		
	その他特定財源			0		0		
	一般財源		0	0		1,899,130		
	財源合計		0	0		1,899,130		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
街区公園整備数					箇所			1
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
街区公園整備総数					箇所			

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか		
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか		
類似性	他事業との類似はないか		
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか		
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か		
平成28年度までの自己評価または改善点			

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	課員が設計積算業務を行えるので導入の予定はない。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	現地調査及び地元との調整を確実に進めていく。	
平成30年度以降の方向性	防災機能を有した街区公園を整備する。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

整備のタイミングを慎重に検討すること。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.158

平成29年6月29日作成

事業番号	287	担当課等	公園課							
事務事業名	海浜公園プール維持修繕事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	03	事業開始年度	昭和 61 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P68 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	2 ともに支えあい笑顔で暮らせるまちづくり	Ⅱ 福祉の充実	2 児童福祉・子育て支援	(1) 子どもたちが生き生きと育つための環境づくり	② 健全な遊び場や交流の場の確保
関連する個別計画					
目的	海浜公園のプールは町内で唯一のプールであり、夏季の遊び場や交流の場として運営するため維持修繕を行うもの。				
対象	プール利用者				
内容	プールを運営するため鉄部の塗装や老朽化した底板の補修など、プール全般に必要な施設の修繕を行うもの。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費		2,484,000	2,493,720	2,500,000		
	人件費	常勤職員	658,434	647,682	629,391		
		非常勤職員等	0	0	0		
		人件費合計	658,434	647,682	629,391		
	総事業費		3,142,434	3,141,402	3,129,391		
財源内訳	国庫支出金		0	0	0		
	県支出金		0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他特定財源		0	0	0		
	一般財源		3,142,434	3,141,402	3,129,391		
	財源合計		3,142,434	3,141,402	3,129,391		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
開場日数			プール稼働日数	日	44	45	48
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
プール入場者			プールの有効活用	人	10,454	10,011	11,100

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	誰もが利用できる公園プールは、地域の住民や観光客に様々な利用をされており、夏季の子どもの遊び場として、安心・安全なプール施設を維持する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	採算性を求める事業ではないが、プール施設の不備による大きな事故などはないことから、プール利用者の安全が確保されており、効果は得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	プール設備の不備による大きな事故はなく、プール利用者の安全性が確保されているため、目的に対する成果は得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	プールは町民や観光客等誰でも利用できることから受益の機会は一定の均等が図られている。
平成28年度までの自己評価または改善点		プールサイドにおける安全性を高めるため、プールサイド床のノンスリップ塗装の割合を増やした。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	工事のみの事業であり、設計・積算は課員で行うことができるので可能性はない。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	平成28年度に引き続き床のノンスリップ塗装を多く行った。	
平成30年度以降の方向性	全体的に危険箇所の補修が完了するので、今後は管理棟の補修や全体的な壁の塗装等に着手したい。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	プール利用者の安全・安心のため年度計画に沿って修繕していくこと。
------	----------	----------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.159

平成29年6月29日作成

事業番号	1281	担当課等	公園課							
事務事業名	海浜公園テニスコート補修事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	03	事業開始年度	平成 28 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P114 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	IV 計画的な土地利 用の推進	3 公園・緑地水辺	(1) 公園の整備	① 都市公園の整備
関連する個別計画					
目的	経年劣化により滑りやすくなったコートの補修を行い、利用者の安全を図るもの。				
対象	テニスコート利用者				
内容	劣化したコートの一部を撤去し、新しいゴム等を施工するもの。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)		平成29年度(見込)		
	事業費			3,596,400		12,194,000		
	人件費	常勤職員		925,260		899,130		
		非常勤職員等		0		0		
		人件費合計	0	925,260		899,130		
	総事業費		0	4,521,660		13,093,130		
財源内訳	国庫支出金			0		0		
	県支出金			0		6,137,000		
	地方債			0		0		
	その他特定財源			0		0		
	一般財源		0	4,521,660		6,956,130		
	財源合計		0	4,521,660		13,093,130		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	町の公共施設であり、利用者の安全を図るためには必要と考える。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	利用者が安全・快適に利用できるようになることから効果は得られていると思われる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	けがの可能性があった穴がなくなり、利用者の安全が図られたので成果は十分得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3	テニスコート利用者が対象になる。
平成28年度までの自己評価または改善点	補修を行った箇所の状態は良くなっているが、古い場所との取り合い部に不具合が出ている。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	工事のみの事業であり、設計・積算は課員で行うことができるので必要はない。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	コート1面の全面改修につき、水勾配に配慮した施工を行う。	
平成30年度以降の方向性	残りのコートの補修を順次実施していきたい。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	引き続きコートの劣化を補修するため計画的に実施していくこと。
------	----------	--------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・財源を調達しながら、計画的に推進すること。 ・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.160

平成29年6月29日作成

事業番号	1305	担当課等	公園課							
事務事業名	海浜公園プール塗装事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	03	事業開始年度	平成 29 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P68 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	2 ともに支えあい笑顔で暮らせるまちづくり	Ⅱ 福祉の充実	2 児童福祉・子育て支援	(1) 子どもたちが生き生きと育つための環境づくり	② 健全な遊び場や交流の場の確保
関連する個別計画					
目的	プール槽内の劣化により、穴あきが発生していることから利用者の安全を図るもの。				
対象	プール利用者				
内容	海浜公園プールの槽内を専用塗料で塗装するもの。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費				2,452,000		
	人件費	常勤職員			299,710		
		非常勤職員等			0		
		人件費合計	0	0	299,710		
	総事業費		0	0	2,751,710		
財源内訳	国庫支出金				0		
	県支出金				0		
	地方債				0		
	その他特定財源				0		
	一般財源		0	0	2,751,710		
	財源合計		0	0	2,751,710		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか		
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか		
類 似 性	他事業との類似はないか		
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか		
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か		
平成28年度までの自己評価または改善点			

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	工事のみの事業であり、設計・積算は課員で行うことができるので必要はない。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	プール開始前にプール清掃後施工予定	
平成30年度以降の方向性	25mプールも同様に着手し、以降管理棟等建築物の塗装を手掛けたい。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	プール利用者の安全・安心のため計画的に修繕していくこと。
---------	----------	------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.161

平成29年6月29日作成

事業番号	757	担当課等	公園課							
事務事業名	アスレチック遊具改修事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	05	事業開始年度	平成 20 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P68 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	2 ともに支えあい笑顔で暮らせるまちづくり	Ⅱ 福祉の充実	2 児童福祉・子育て支援	(1) 子どもたちが生き生きと育つための環境づくり	② 健全な遊び場や交流の場の確保
関連する個別計画					
目的	老朽化した幕山公園のアスレチック遊具を補修し、安全を図るもの。				
対象	公園利用者				
内容	経年により劣化したアスレチック遊具の木部を交換するもの。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費				2,927,000		
	人件費	常勤職員			299,710		
		非常勤職員等			0		
		人件費合計	0	0	299,710		
	総事業費		0	0	3,226,710		
財源内訳	国庫支出金				0		
	県支出金				0		
	地方債				0		
	その他特定財源				0		
	一般財源		0	0	3,226,710		
	財源合計		0	0	3,226,710		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
補修遊具数			施設の安全維持	基	0	0	1
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
要補修遊具数				基	1	1	0

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	街区公園の遊具同様、危険性のあるアスレチック遊具を補修することは施設管理者の義務である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	補修を行うことにより、利用不可能な遊具が利用可能となるので十分効果が得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	幕山公園のアスレチック遊具は、利用頻度が高く補修を行うことによって安全を図ることについての成果は得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	年代や利用時間を問わず利用可能な施設につき、受益の機会は均等である。
平成28年度までの自己評価または改善点		木製遊具につき、早期補修を心掛け、木部については極力交換していく。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	工事のみの事業であり、設計・積算は課員で行うことができるので必要はない。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	木部については全て交換を実施し、夏休みまでに完了する予定。	
平成30年度以降の方向性	平成29年度に実施することにより事業は完了予定だが、今後、点検により早期補修を計画したい。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	引き続き他のアスレチック遊具について毎年行っている点検結果によって適正に改修していくこと。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.162

平成29年6月29日作成

事業番号	1039	担当課等	公園課							
事務事業名	園内橋改修事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	05	事業開始年度	平成 29 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P114 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	IV 計画的な土地利 用の推進	3 公園・緑地水辺	(1) 公園の整備	① 都市公園の整備
関連する個別計画					
目的	経年により劣化した木橋を交換することにより公園利用者の安全を図るもの				
対象	公園利用者				
内容	既設の木橋を撤去し、同様の木橋を設置するもの。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費				2,625,000		
	人件費	常勤職員			629,391		
		非常勤職員等			0		
		人件費合計	0	0	629,391		
	総事業費		0	0	3,254,391		
財源内訳	国庫支出金				0		
	県支出金				0		
	地方債				0		
	その他特定財源				0		
	一般財源		0	0	3,254,391		
	財源合計		0	0	3,254,391		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必 要 性	町が実施する必要があるのか	
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	
類 似 性	他事業との類似はないか	
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	
平成28年度までの自己評価または改善点		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	工事のみの事業であり、設計・積算は課員が行うことができるので必要はない。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	公園利用者が少ない「梅の宴」の前に施工予定。	
平成30年度以降の方向性	平成29年度に実施することにより事業は完了予定だが、今後は点検により早期補修を計画したい。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	休止	幕山公園内の園内橋について今後も点検していき改修が必要な場合は適切に改修していくこと。
---------	----	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	休止	
---------	----	--